



## 6月23日「沖縄慰霊の日」を迎える



激戦地となった摩文仁の平和祈念公園にて

78年前の今日、太平洋戦争末期の沖縄で行われた日本軍による組織的な戦闘が終結しました。6月23日の「沖縄慰霊の日」を迎え、県と県議会主催で「沖縄全戦没者追悼式」が開催されました。

追悼式で玉城知事は「平和宣言」を読み上げました。安全保障環境が厳しさを増すアジア太平洋地域の現状について「対話による緊張緩和が必要」と述べるとともに、沖縄に集中する米軍基地の整理・縮小も求めました。

台湾有事などを見据えて、沖縄では防衛力強化が進められています。

また、ロシアによるウクライナ侵攻は未だに収束の兆しが見えない状況です。

国内外で平和を脅かす動きが活発になっていると同時に、防衛増税も検討が行われています。戦争を過去のものとせず、過去から学んでいくことが必要です。また、政治と私たちの生活は無関係でないことから、政治について一人ひとりが関心を持ち、考えていかなければなりません。

平和と “いのち” を守り抜くために、  
職場から議論を積み重ねよう!